

あい だ かず ひと
相田一人さん講演会

つまづいたって いいじゃないか にんげんだもの あい だ ～父 相田みつをを語る

【と き】

2012年

6月5日(火)

18:30～(開場 18:00)

入場
無料

【ところ】

県民ふれあい会館ホール

(鳥取市扇町 21 TEL 0857-21-2266)

※車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

いのちの詩人

相田みつを作品展 ロビーにて同時開催!

6月6日(水)～11日(月)は五臓圓ギャラリー
で開催します!!

(五臓圓ギャラリー: 五臓圓ビル2階 鳥取市二階町2丁目207)



講師 相田一人さん 略歴

相田みつを美術館館長。昭和30年栃木県足利市生まれ。相田みつをさんの長男。

出版社勤務を経て、平成8年、東京銀座に相田みつを美術館を開館。「じぶんの花を」「本気」「ある日自分へ」(文化出版局)、「いまからここから」(ダイヤモンド社)などの編集、監修に携わる。著書に「父 相田みつを」「書 相田みつを」(文化出版局)がある。

平成15年11月、東京国際フォーラムに新美術館をオープン。現在、美術館業務の傍ら、全国各地での講演活動や執筆活動を行っている。

つまづいたって
いいじゃないか
にんげんだもの
みつを

© 相田みつを美術館

☆ 要約筆記あり。手話通訳が必要な方は、5月25日(金)までに裏面問合せ先へご連絡ください。

☆ 託児が必要な方は、5月22日(火)までに裏面問合せ先へご連絡ください。

主催 財団法人鳥取市人権情報センター 世界人権宣言推進鳥取市実行委員会

後援 鳥取県

朝日新聞鳥取総局、山陰中央新報社、産経新聞鳥取支局、新日本海新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、NHK鳥取放送局、山陰中央テレビジョン放送株式会社、テレビ朝日、日本海テレビ、BSS山陰放送、日本海ケーブルネットワーク、いなばぴょんぴょんネット (順不同)

いのちの詩人

相田みつをの世界

苦しいとき、なやみがつきないとき、人とくらべて自分をつまらない人間と感ずるとき、
うれしいとき、楽しいとき、しあわせなとき、
どんなときも、自分のところにそっと寄り添ってくれる相田みつをさんの詩…
“いのちの詩人” 相田みつをさんの世界へようこそ！！



相田みつを 略歴

- 1924年 5月20日、栃木県足利市に生まれる。本名 光男
- 1942年 旧制栃木県立足利中学校を卒業（18歳）。歌人・山下陸奥に師事し、歌誌「一路」に参加する。秋の歌会で生涯の師となる曹洞宗高福寺の禅僧・武井哲応老師と出会い、在家のまま師事し、禅を学ぶ。翌年、19歳の時から本格的に書を学び、書家・岩澤溪石に師事する。
- 1954年 第6回毎日書道展に入選。以後、第12回展まで連続7回入選。
10月に第1回個展を足利市で開催し、以後亡くなるまでにおよそ20回の個展を開催する。
- 1966年 足利市八幡町へ転居。アトリエをつくり終生ここで創作を行う。（42歳）
- 1984年 初めての著書『にんげんだもの』（文化出版局）を出版する。（60歳）
- 1991年 こころの暦『にんげんだもの』とトイレ用日めくり『ひとりしずか』（而今社）を発行する。
12月17日、足利市内の病院で脳内出血により永眠。享年67歳。

自分の番
いのちのボタン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前では――？
なんと百万人を越すんです

過去無量の
いのちのボタンを受けついで
いまここに
自分の番を生きている
それが
あなたなのいのちです
それがわたしの
いのちです
みつを

© 相田みつを美術館

(財)鳥取市人権情報センター

問合せ先

〒680-0823 鳥取市幸町151
TEL 0857-24-3125 FAX 0857-24-3444
メール info@tottori-jinken-joho-center.or.jp

世界人権宣言推進鳥取市実行委員会

〒680-8571 鳥取市尚徳町116
TEL 0857-20-3143 FAX 0857-20-3052